

トラブル続きの大涌谷

～毎日が天候と温度そしてガスとの闘い～

今年の冬は、異常な湧水に加えて主力蒸気井の停止などのトラブルが続き、例年以上に厳しい中での温泉供給となっています。降雨量に関して言えば、4月から現在までの降雨量が約2000mmとこの20年を比較しても最も少ない年となっており、大涌谷から湧き出る「自然湧泉」の量も日に日に量を減らしております。

現在稼働中の蒸気井も100%の能力で造成を行ってしまうと、温度は上がる反面、温泉中に火山性ガスが溶け込みすぎ、温泉管を通しお客様の浴槽まで火山性ガスが流入してしまう可能性も有ることから、最大限に造成をする事が出来ず歯がゆい思いをしながら、微妙な調整を担当職員が毎日慎重に行っております。

大涌谷源地付近では、温度ロスをなくす為、パイプの保温工事も順次進められておりますが、逆に造成した温泉をガス抜きをする為、樋を流し空気に触れさせる事により“ばっき”しなければなりません。底に凹凸がある樋を5～10m流す事により多くの空気と接触させ、余分な火山ガスを大気に放出させますが、この時多くの熱もいっしょに逃がしてしまう事になります。相反する事ですが、保温と造成そしてばっきと全体のバランスを見ながら安全と温度を両立させなければなりません。

また、十年以上主力として稼働していた51号蒸気井も昨年秋に蒸気の噴出が無くなり未だ回復の兆しすら見せず、そして同じく十年以上主力として稼働している48号蒸気井も数ヶ月前から蒸気量が極端に少なくなってしまう、今までの横置き造成タンク型では十分な造成が行えなくなり、熱交換率の高い煙突型の造成塔へ急遽作りかえられました。温度と安全との両立の為、担当係員は毎日温度計とガス検知器をもって走り回っております。残念ながら今現在、昨年と同時期と比べ2～3℃位送り出しの温泉の温度が低くなってしまっているのが現状です。

皆様方にも大変ご迷惑をお掛けしておりますが、現在の大涌谷の状況をご理解いただけたら幸いです。



関連企業

●箱根湖畔ゴルフコース

電話 0460 (84) 4477

<http://www.hakonekohan.com/>

●箱根湖畔テニスパーク

電話 0460 (86) 3600

<http://www.geocities.jp/officeyakushiji/>

●大涌谷観光センター

電話 0460 (84) 9605

<http://www.owakudani.com/>

●国民宿舎口々千富士見苑

電話 0460 (84) 8675

<http://www.fujimien.com/>

箱根温泉供給株式会社

箱根大涌谷から

湯のたより



大涌谷温泉と温泉を取り巻く

旬な情報をお届けします

～現在の大涌谷の様子～



煙突型の造成塔は、非常に熱交換率が良いのですが反面、温泉中の火山ガス濃度も高くなってしまい、出来上がった温泉を一旦空気に触れさせガス抜きをしてから供給しなければなりません。



主力の51号蒸気井は、秋に噴気が停止し、その後回復の兆しすら見せていません。



以前に使用していた造成タンク

小型造成塔

蒸気量が激減してしまい、強力な蒸気井に利用されるタンク型造成装置から熱交換率の高い煙突型へ急遽作り変えられた、48号蒸気井。

蒸気がごく僅かになってしまった蒸気井も、直系20cmのパイプを立て、その僅かな蒸気も無駄なく利用しています。



大涌谷から送り出される温泉に危険な濃度の火山ガスが含まれていないか、ガス検知器で測定し確認します。もしガス濃度が高い時は、直ちに下流部のガス濃度のチェックを行うと共に、大涌谷の各蒸気井の調整を1からやり直します。

～揭示証の変更手続きが必要になります～

※改正温泉法は、平成19年10月20日から施行されています。

衛生上の観点や温泉利用者の温泉への信頼確保の観点から、温泉利用事業者に対して**温泉分析の定期的な分析（10年ごと）、その結果に基づく揭示内容の更新が改正温泉法により義務づけられました。**（※営業等で温泉を利用されている方が対象で、個人利用者は対象外となります。）



当社がお客様にお渡ししております「温泉成分、禁忌症及び入浴上の注意事項揭示証」に記載されている内容は、平成11年9月17日の分析結果に伴うものとなり、改正温泉法により平成21年12月31日までに温泉成分の再分析とその結果に基づく内容の揭示が必要となります。

温泉成分の再分析は当社で春先から夏頃を予定しております。分析結果が出次第、新しい揭示証を作成しお客様に順次お配りいたします。お客様は、その後各施設ごとに小田原保健福祉事務所へ揭示証の変更届をご提出いただく必要がございます。

当社の供給先は温泉荘地域、仙石原地域、強羅地域と3地域ありますが、今までの分析は大涌谷の調節所といわれる場所でのみ行っておりましたが、今後は各地域ごとにブレンドされる源泉に違いがあることから、各地域ごとの3つの分析を依頼する方針を決めました。温泉の分析結果は、時間の流れと共に変化する事も多く、又分析場所が変更になることから、分析結果に変化が出てくる事が予想されます。適応症や禁忌症には大きな違いが出ないと思われませんが、泉質名等には変更が出るであろうと予想されています。

時間的な制約がありますので、お客様にも出来るだけ早いタイミングでお渡し出来るよう当社も準備を進め、又早めにご案内して行きたいと思っておりますので、ご不明な点等ございましたら、担当者までご連絡下さい。



受湯者の皆様へ

大涌谷も一年中で最も厳しい季節を迎えています。今回特集記事にさせて頂いたように、この冬は温度的に特に厳しい状態が続いており、お客様にも大変ご迷惑をお掛けいたしております。

2009年中に蒸気井の浚渫等の予定はございますが、現在自然保護の観点から掘削や浚渫の許可を取るのに非常に時間と手間が掛かります。担当部長も百何十枚にもなるかという書類の作成を行っています。

「いつも雨に喜び雨になかされた」と会社設立当初から職員が言っていたようですが、濁水に泣き、程よい雨に喜び、大雨による災害に泣かされたのは今も昔も変わらないようです。より良い温泉を皆様にお届け出来るよう毎日努力しておりますので、何卒ご理解のほどよろしくお願いたします。

○温泉の出湯及び休湯のご連絡は前日までに

大涌谷の温泉は、毎朝各方面別に使用する温泉の量を計算し、造成量等を調節しています。よって、当日の連絡による出湯等は大変困難であり、お断りするようになってしまいますので、十分ご注意下さい。

○弊社への連絡は、ご登録名義をお伝え下さい

弊社へお電話いただく際に、「〇〇荘ですが」、「〇〇寮ですが」というお電話をいただく事がありますが、類似した名称も多く、間違いやすくなっています。お電話いただくときは、必ず温泉権のご登録名義をお伝え下さい。

平成21年2月1日発行

箱根温泉供給株式会社

〒250-0631

神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1251-1

電話 0460 (84) 8516

Fax 0460 (84) 7442

H P <http://www.hakoneonsen.com>

E-mail info@hakoneonsen.com